

第22回 新型インフルエンザ等対策推進会議 欠席者意見

2026年4月27日

堀 幸子

（一般社団法人日本経済団体連合会危機管理・社会基盤強化委員会企画部長）

都合により、本日の会議は欠席いたしますので、本日の議事について以下の通り、意見を申し上げます。

議事（1）新型インフルエンザ等対策政府行動計画のフォローアップ・ヒアリング（治療薬・治療法、保健）について

資料2の4頁（地域における情報提供・共有、リスクコミュニケーションについて）

- 専門的立場から情報共有や相談等のリスクコミュニケーションを行う人材は重要である。
- 経団連提言「司令塔機能を強化し、新たな感染症に備える」（2022年11月）では、『国民や事業者に対する情報伝達や対策の周知、理解促進は政府の重要な役割であり、統括庁は、感染症対策に関わる情報を一元的に集約し、感染症対策に役立てるとともに、プライバシーに配慮しつつ、専門家のサポートを受け、信頼性の高い情報を国民にタイムリーにわかりやすい形で発信すべきである。国民の不安にこたえる「リスクコミュニケーション」、起きてしまったことへの国民の恐怖を鎮める「クライシスコミュニケーション」を行うには、広報専門官を統括庁に設置し、平時から訓練しておくことが必要である。』と提言している。
- 今年2月に開催したシンポジウムのような保健所担当者向けの取り組みも重要だが、情報発信の司令塔となる統括庁でコミュニケーションの専門家を計画的に育成し、広報専門官として任命していただきたい。

議事（3）中東情勢を踏まえた医療用手袋の備蓄の放出について

資料4-1、4-2について

- 資料で示された通り、医療用手袋の備蓄を放出することに賛成である。
- 医療用手袋に限らず、国際的なサプライチェーンが目詰まりを起こすことによって医療現場に支障をきたす物資はほかにもありうる。滅菌用のパッケージやチューブ類が手に入りにくいとの報道もあった。
- この機会に医療現場のフォローアップを行い、調達先の多元化、流通量や経路など情報の一元化を図り、不可欠な物資の官民での備蓄等の充実を検討していただきたい。

以上